



熱くて、苦い—



『2.43 -清陰高校男子バレー部-』
壁井ユカコ／著 集英社
才能はあるが性格に難アリの灰島と、潜在能力は高いもののメンタルの弱い黒羽。バレーを通して出会った2人は、不思議な友情でつながり合う。

部活本!



『部活で大活躍できる！
陸上最強のポイント50』
福岡博樹／監修 メイツ出版

陸上をする上で大切なポイントを、強豪校の監督が解説。写真もいっぱいあってわかりやすいよ。部活に入っている人は、これを読んでレベルアップを目指せ！



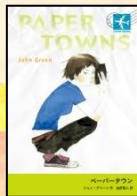
『幕が上がる』
平田オリザ／著 講談社

弱小演劇部のユッコ、ガルル、そして私。高3の春、吉岡先生がやってきて、私たちは変わり始めた。もっともっとお芝居がしたい。仲間たちと共に、大会目指して走り出す！



『島はぼくらと』
辻村深月／著 講談社

瀬戸内海の浜島から本土の高校に通う幼なじみの朱里、衣花、源樹、新。ともに過ごす日々は瞬間に過ぎて……。友情、故郷、生き方など大切なことが詰まったまぶしい青春物語。



『ペーパータウン』
ジョン・グリーン／作 金原瑞人／訳 岩波書店

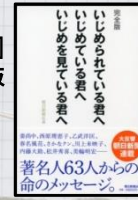
高校の卒業式直前、幼なじみのマーゴは姿を消す。地図会社が盗作の対策で作った実在しない街(ペーパータウン)で、クエンティンは彼女を見つけることができるのか？



『還りの会で言っやる』(メディアワークス文庫)
八重野統摩／著 株式会社 KADOKAWA
アスキー・メディアワークス
クラスの女王陛下グループからいじめにあっている幼なじみ、鈴城柚舞を救うべく立ち上がった「還りの会」。やり方はちょっと(笑)だが、この正義感や情熱に勇気もらえるかも!?

『いじめられている君へ いじめている君へ
いじめを見ている君へ -完全版-』
朝日新聞社／編 朝日新聞出版

君は「いじめ」をどんな立場から見ている人？この本は、有名人63人が今の君に送るメッセージ。いじめへの考え方にも色々あるんだ。きっと共感できるものが見つかるはずだよ。



いじめ

いつもとちがう日常。



①『大きな音が聞こえるか』坂木司／著 角川書店

退屈な日々を持てあましていた泳は、インターネットの動画を見て、南米のポロロッカという大波を見に行くことを決意。剣も魔法も出てこない、現代の大冒険！



②『モッキンバード』キャスリン・アースキン／著 明石書店

こだわりが強く、他人に共感することが苦手なケイトリンの、唯一の理解者だった兄が死んだ。だけど父親は悲しみに暮れるばかり。「区切り」があれば気持ちが楽になると知った彼女は、1人で探し始めるが……。



③『ほごけん ヒトと保護犬の赤い糸さがし』柴田亜美／著 竹書房

捨てられたり、震災で家を失った犬に新しい飼い主が見つかるまで家で世話をし、保護犬ボランティアのちょっと笑える日常をマンガで紹介。命やペットとの絆、考えてみませんか？

